

# 学位論文審査結果の要旨

所 属	三重大学大学院医学系研究科 甲 生命医科学専攻 臨床医学系講座 神経病態内科学分野	氏 名	まつだ かな 松田 佳奈
審 査 委 員	主 査 佐久間 肇 副 査 島岡 要 副 査 百崎 良		
<p>(学位論文審査結果の要旨)</p> <p>Investigation of hypertensive arteriopathy-related and cerebral amyloid angiopathy-related small vessel disease scores in patients from a memory clinic: a prospective single-centre study</p> <p>【主論文審査結果の要旨】</p> <p>著者らは論文において下記の内容を述べている。</p> <p>目的:脳小血管病 (small vessel disease, (SVD)における画像上の重症度評価指標として、高血圧と関連する Hypertensive Arteriopathy (HA)-SVD スコアと脳アミロイド血管症 (cerebral amyloid angiopathy, (CAA)を反映する CAA-SVD スコアの2つが報告されている。前者は知的機能と相関するとの報告があるが、後者に関する報告はない。今回、軽度認知障害 (mild cognitive impairment, (MCI)および軽度認知症患者を対象とし、両スコアと認知機能との関連を検討した。さらに、CAA との関連が示されている皮質微小梗塞や後方優位の白質病変を項目に追加した Modified CAA-SVD スコアを新たに作成し、認知機能との関連を検討した。</p> <p>方法:対象は、2017年2月～2019年7月に当院脳神経内科で MCI・軽度認知症と診断され、Clinical Dementia Rating (CDR)の施行と脳 Magnetic Resonance Imaging (MRI)の撮像が可能であった 42名 (75.3±9.12歳)である。認知機能評価として知的機能、記憶、前頭葉機能、構成機能を評価した。各 SVD スコアを従属変数、認知機能を独立変数として線形回帰分析を行った。</p> <p>結果: CAA-SVD スコアは回帰式が成立したが (<math>R^2=0.63</math>, <math>p=0.016</math>)、HA-SVD スコアは回帰式が成立しなかった (<math>R^2=0.41</math>, <math>p=0.35</math>)。また、Modified CAA-SVD スコアでも回帰式が成立した (<math>R^2=0.65</math>, <math>p=0.008</math>)。</p> <p>結論: MCI・軽度認知症患者には CAA-SVD スコアでの評価が適している。また、Modified CAA-SVD スコアはより有用性の高い指標となる可能性がある。</p>			

以上より、本論文は CAA-SVD スコアと認知機能に関連があることを示した論文であり、学術上極めて有益であり、学位論文として価値あるものと認めた。

BMJ Open 2021;11(4):e042550

Published: 2021 Apr 8

doi:10.1136/bmjopen-2020-042550

著者名

Kana Matsuda, Akihiro Shindo, Yuichiro Ii, Ken-ichi Tabei, Yukito Ueda, Hidehiro Ishikawa, Keita Matsuura, Kimiko Yoshimaru, Akira Taniguchi, Natsuko Kato, Masayuki Satoh, Masayuki Maeda, Hidekazu Tomimoto